



産業用 有圧換気扇 〈低騒音形 70cm~105cm〉

排気タイプ ※外形は機種により多少異なります。	形名	羽根径 (cm)	屋内外区分	給気タイプ ※外形は機種により多少異なります。	形名	羽根径 (cm)	屋内外区分
	EWG-70JTAe-Q-50-60	70	屋外		EWG-70JTAe-Q-50-60	70	屋外
	EWG-80LTAe-Q-50-60	80			EWG-80LTAe-Q-50-60	80	
	EWH-80JTAe-Q-50-60				EWH-80JTAe-Q-50-60		
	EWH-105MTAe-Q-50-60				EWH-105MTAe-Q-50-60		
EWJ-105JTAe-Q-50-60	105	EWJ-105JTAe-Q-50-60	105				

※「屋外」は屋外の雨線内での使用に適しています。

取扱説明書 (据付工事説明書付)

お客様へ
ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

工事店様へ
据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
■この製品は3相200/200/220V (50/60/60Hz) 製品です。電源を確認して据付工事を行ってください。
■この製品は排気用または給気用です。羽根のつけ換えおよび結線の変更はできません。

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。
この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

据付工事説明書 (工事店様へ)

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

	爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない 爆発や火災の原因。 定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災・感電の原因。 換気および送風用途以外には使用しない 火災・感電・けがの原因。		煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する 一酸化炭素中毒を起こす原因。 メタルスズり、ワイヤスズり、または、金属板張りの木造物と金属ボディの部分が直接触れないように据付ける (電気設備の技術基準に従い施工してください) 漏電したとき、火災の原因。
	アースの工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 故障や漏電のときに感電の原因。		漏電ブレーカを確実に取付ける 漏電のときに感電の原因。 保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る 感電やけがの原因。

2.据付け前のお願い

注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

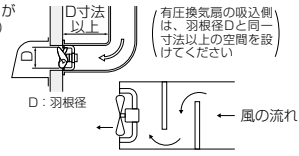
	直接炎が当たるおそれのある場所には据付けない 火災の原因。		羽根や部品の取付けは確実に行う 落下によるけがの原因。 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備の技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
	浴室など湿度の高い場所 (相対湿度90%以上) には据付けない 感電や火災の原因。		開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する 端面などでのけがの原因。
	この製品は高所取付用のため床上1.8m以上に据付ける けがの原因。 本体の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う 落下によりけがの原因。		積雪、落雪の可能性がある場所には据付けない 部品の破損・落下によるけがの原因。

〈排気タイプ〉 〈給気タイプ〉 ●軸垂直羽根下向き (給気タイプの場合は羽根上向き) 姿勢で据付ける場合
モータ内部のプレロードスプリングを反対側に移す必要があります。この処置は必ずお近くの「三菱電機システムサービス株式会社」(同梱の三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口) に依頼してください。

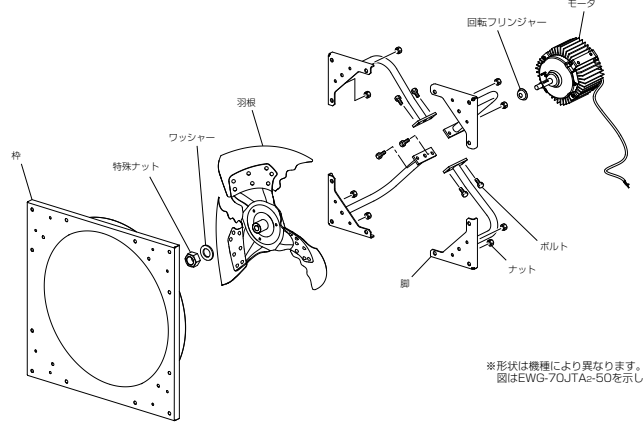
- 機器組込用途でご使用いただく場合には、最寄りの弊社販売店にご相談ください。送風機が容易にメンテナンスができる構造とし、また送風機の寿命や万が一の故障により、二次的被害が想定される場合には必ずフェールセーフ設計の配慮をしてください。
- この製品は高所取付用です。バックガードを装着しても床上1.8m以上のところに据付けてください。低い所に据付けられますと、けが・事故の原因になることがあります。また、床面から1.8m以上の設置位置であっても、作業・活動等により人体に触れる可能性がある場合は、より安全のため人体が触れない高さへの据付けをお願いします。
- 屋外用は、直接雨が掛かる場所でも使用できます。(モータの水浸入に対する保護等級はJIS C 4034-5に定めるIPX4 (防まつ形) 相当です)。ただし、錆により寿命が短くなるおそれがありますので、雨線内(軒下屋外)に設置いただくか、ウェザーカバーなどとの併用をおすすめします。
- 近接設置する場合、据付け条件によっては有圧換気扇本体やシャッターに振動や騒音が発生する場合や過負荷保護装置が動作する場合があります。
- 給気タイプをご使用の場合は、雨天時の雨水の吸込抑制のため防雨ブレード付給気用ウェザーカバーのご使用をおすすめします。ウェザーカバーが設置されている場合でも設置場所、据付け状態、天候状況によっては屋内へ雨水を吸込みます。雨水の吸込みによって屋内の保管品や設備等に被害が生じるおそれのある場合は、市販の雨滴センサーやフィルター等による吸込防止策をしてください。
- インバータ運転を行う場合は、三菱送風機用インバータ以外を使用しますと異常な振動、共振、騒音等が発生するおそれがありますので、必ず三菱送風機用インバータを使用してください。

■次のような場所には据付けしないでください (故障の原因になります)

- 右図のように、吸込側に遮へい物や極端な風路の曲がりがある場所 (偏流が起こり羽根が破損することがあります)
- 50°C以上になる場所 (厨房等) ●障害物のある場所
- 30°C以下になる場所 ●障害地域
- 冷凍室など氷結するおそれのある場所
- 常時0°C以下になる場所
- 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- 極端に高い静圧のかかる場所
- ほこりや油煙の多い場所
- 厨房等で油煙・蒸気が直接製品に掛かる場所



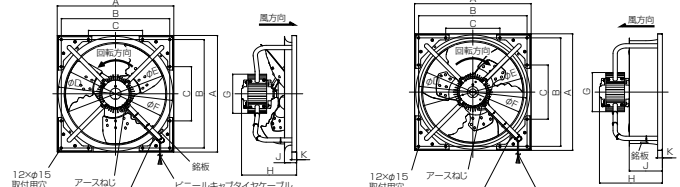
3.各部のなまえと外形寸法図



※形状は機種により異なります。図はEWG-70JTAe-Q-50を示します。

〈排気タイプ〉

〈給気タイプ〉



〈排気タイプ〉

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
EWG-70JTAe-Q-50-60	860	800	400	846	756	740	φ289	406	90	35	0.75
EWG-80LTAe-Q-50-60	950	900	400	938	835	815	φ289	450	96	35	1.25
EWH-80JTAe-Q-50-60	950	900	400	938	835	815	φ231	450	96	35	0.75
EWH-105MTAe-Q-50-60	1280	1210	750	1260	1068	1030	φ305	545	200	50	3.5
EWJ-105JTAe-Q-50-60	1280	1210	750	1260	1068	1030	φ262	545	200	50	1.25

〈給気タイプ〉

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
EWG-70JTAe-Q-50-60	860	800	400	797	756	740	φ289	465	245	35	0.75
EWG-80LTAe-Q-50-60	950	900	400	876	835	815	φ289	519	256	35	1.25
EWH-80JTAe-Q-50-60	950	900	400	876	835	815	φ231	519	256	35	0.75
EWH-105MTAe-Q-50-60	1280	1210	750	1090	1050	1030	φ305	629	303	50	3.5
EWJ-105JTAe-Q-50-60	1280	1210	750	1090	1050	1030	φ262	629	303	50	1.25

4.据付方法

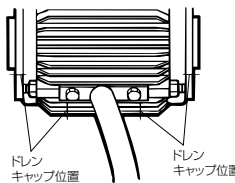
注意

- この製品は高所取付用のため床上1.8m以上に据付ける けがの原因。
- 開梱・据付けの際は手袋を着用する 端面などでのけがの原因。
- 製品の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う 落下によりけがの原因。

汚れた空気を排出するときは新鮮な空気の入る場所が必要です。換気扇の取付枠と同等以上の大きさの、空気取入口を換気扇の反対側に設けてください。

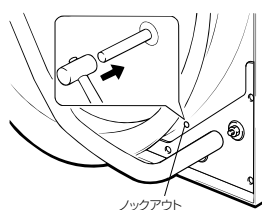
据付前の準備

- ドレンキャップの取りはずし……湿度の高い場所で使用する場合



屋外や湿度の高い場所や雨水が通過するおそれのある環境で使用の場合は、モータに設けたドレンキャップが下側になるよう据付け、下側になったドレンキャップは取りはずす。
※ほこりの多い場所では取付けたまま使用してください。(ときどき取りはずしてドレンを抜いてください)

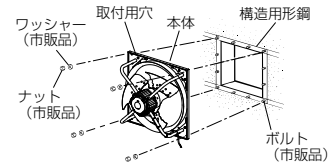
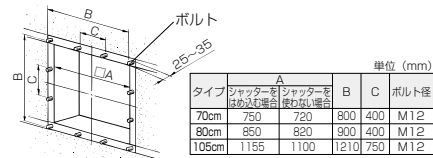
電動式シャッターを据付ける場合



電動式シャッターの電源コードを有圧換気扇側に引き込む場合、左図のように本体のノックアウト穴をペンチやニッパーなどであけてから据付工事を行う。

据付工事説明 4.据付方法 つづき

コンクリート壁に据付ける場合



1. 構造用形鋼等で取付位置に枠を作り、ボルトを溶接等で確実に固定する。(12か所)

2. ボルトに本体12か所の取付用穴を通し市販のワッシャー・ナットで確実に固定する。

- お願い**
- コンクリート壁直付けは行わないでください。必ず形鋼などで枠を作り、据付けてください。
 - 羽根を持って運ばないでください。

5.電気工事



警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アースの工事は必ず有資格者である電気工事が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う故障や漏電のときに感電の原因。

- 電源は3相200/200/220V (50/60/60Hz) です。電源の間違いがないか確認して接続してください。間違った電源で運転するとモータが焼損します。
- 必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- 漏電ブレーカを必ず設置してください。
- モータの過負荷保護のためモータブレーカまたは電磁開閉器(電磁接触器+サーマルリレー)の過負荷保護装置を使用してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに取付けてください。過負荷保護装置は仕様の欄に従い選定ください。



注意

電気工事は必ず有資格者である電気工事が内線規程や電気設備の技術基準に従って行う 絶対に「手より接続」はしない 又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内にて行う接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

5. 異常な振動や騒音はありませんか。(異常がある場合は運転を停止し、電気工事内容を確認してください)
6. 3相製品の場合、回転方向が逆ではありませんか。(回転方向を修正する場合は、3本の電源のうち2本を入れ換える)

6.試運転

据付け、電気工事終了後、必ず次の1~4を確認し、試運転を行って5,6を確認してください。

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事がしてありますか。
4. 電源電圧は正しいですか。

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。

点検項目	処置
錆	部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください。(製品落下によるけがのおそれがあります) 羽根および羽根取付用のナットが錆びていませんか 部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。(羽根破損/落下によるけがのおそれがあります)
ガタつき	製品を据付けたナットがゆるんでいませんか 羽根やモータは確実に止められていますか ガタつきがないようにナットを締め付けてください。(製品落下および羽根落下によるけがのおそれがあります)
損傷	モータの外観が変色していませんか 販売店・工事店様に修理を依頼してください。 電源コードにキズなどありませんか 電源コードまたはモータの交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。 羽根に亀裂などありませんか 羽根の交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。(羽根破損/落下によるけがのおそれがあります)
ほこり	モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか フィルター・防虫網をご使用の場合、目詰まりしていませんか 清掃してください
異常音	回転時に異常な音が出ていませんか 軸受けやモータの交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。 ※軸受けの寿命は50℃環境での連続運転時において約3万時間です。(使用環境によっては短くなる場合があります) 点検のうえ、交換が必要です。

3.修理を依頼する前に

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事店にご相談ください。

現象	原因	処置
通電しても回転しない	ブレーカが切れている 羽根の締め付けがゆるんでいる 本体の締め付けがゆるんでいる	ブレーカを入にする 締め付け直す 締め付け直す
運転中に異常音や振動がする	軸受けより異音が出る 広範囲に錆びが発生している	軸受けの交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。 錆びた部分の交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。
焦げ臭いにおいがする	羽根に何か引っ掛かっている 周囲温度が50℃を超えている モータ内部が腐食している	引っ掛かっている物を取り除く 周囲温度が50℃を超えている場所では使用できません。周囲温度を下げるか、他の機種を使用してください。 モータの交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。

4.アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。
※別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。

■ご相談窓口
平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝・弊社休日以外)
三菱電機換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471 (無料)

所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱有圧換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後9年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

取扱説明

(お客様へ)

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
	水ぬれ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因。
	分解禁止	どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
	接触禁止	運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない けがの原因。 電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時(こげ臭いなど)・停電時は、製品には絶対にふれない 突然運転し始めてけがや感電の原因。
	ぬれた手で操作をしない	感電やけがの原因。
	指示に従う	お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る 感電やけがの原因。

	注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの
	禁止	製品に異常な振動が発生した場合は使用しない 製品・部品の落下によりけがの原因。 1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損、落下によるけがの原因。
	長期使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る	絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。
	指示に従う	羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする 振動による部品の破損、落下によるけがの原因。 お手入れや保守点検の際は手袋を着用する 機面などでけがの原因。

2.お手入れ・点検



警告

お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る感電やけがの原因。

羽根などの清掃

約3か月に1度を目安に清掃する。

- お手入れは中性洗剤を湿した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
- ほこりの多い場所で使用している場合は3か月に1度を目安に、下側のドレンキャップをはずしてドレンを抜き、元通りドレンキャップを取付ける。

全体の清掃

- 油、粉塵など可燃性の汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。必ず定期的(約1年を目安)に清掃してください。

- お願い**
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジング等けんま材入りの洗剤(変質・変色する原因になります)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号